3　火災の総括

①　発生状況及び出火率

令和7年中（令和7年1月1日～令和7年12月31日）における火災件数は41件で、前年から10件減少している。前年比の内訳は、建物火災が11件減少、林野火災は1件減少、車両火災が2件減少、その他火災が4件増加した。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が24件（58．5%）と最も多く、次いで車両火災が4件（9．8%）、林野火災が0件(0%)、その他火災（建物、車両、林野火災に該当しないもの）が13件(31．7%)、となっている。

出火件数を月別に見ると、5月が最も多く9件、次いで7月が7件、12月が5件、6月が4件、2月・3月・4月が3件、8月・9月が2件、1月・10月・11月は1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が5件（20．8%）、共同住宅が2件（8．3%）、併用住宅が1件（4．2%）、店舗が3件（12．5%）、工場・作業場が2件（8．3%）、倉庫が3件（12．5%）その他が8件（33．3%）となっている。

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2．0件で、前年から0．5件減少している。この数値は、前年（令和6年中）の全国平均出火率3．1件より1．1件少ない数値である。

②　死傷者

火災による死者は1人（前年3人）で、負傷者は4人（前年4人）である。

③　焼損状況及び損害額

焼損棟数は26棟で、前年の51棟より25棟減少し、火元建物の焼損床面積は364.5㎡で、前年の2,629㎡より2,264.5㎡減少している。

火災による損害額は86，954千円で、前年の173，852千円より、86，898千円減少している。

④　出火原因

出火原因で最も多かったのが、たばこ及び電気機器が7件である。次いで、火遊び及び放火が3件となっている。

◆令和7年火災総括表

総火災件数		41	件
火災種別	建物	24	件
	林野	0	件
	車両	4	件
	その他	13	件
焼損棟数		26	棟
り災世帯		10	世帯
り災人員		23	人
建物焼損床面積（火元）		364.5	㎡
〃	（類焼）	13.0	㎡
建物焼損表面積（火元）		11.0	㎡
〃	（類焼）	0.0	㎡
林野焼損面積		0.0	アール
死者		1	人
負傷者		4	人
総損害額		86,954	千円
内訳	建物	85,384	千円
	林野	0	千円
	車両	1,294	千円
	その他	276	千円

◆各種別平均

件数		
1か月当り	3.4	件
1日当り	0.11	件
損害額		
1件当り	2,120.8	千円
1か月当り	7,246.2	千円
1日当り	238.2	千円
1時間当り	9.9	千円
1分当り	0.2	千円
焼損床面積（建物火災・火元）		
1件当り	15.2	㎡
1か月当り	30.4	㎡
1日当り	1.0	㎡

出火率　（人口1万人当り）

2.0	件

◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	たばこ	7
	電気機器	
2位	火遊び	3
	放火	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。